

# トビ ら



【特集】市民インタビュー

その日のうちに学校給食に  
食育につながる地場野菜を届ける  
羽村市農業後継者クラブ学校給食食材生産部

P2

- 審議した主な議案  
市長提出議案 P4
- 議案の議決結果 P6
- 市政について問う  
《一般質問》 P8
- 議会活動報告 P17
- 行政視察報告 P18

No.145

令和6年(2024年)  
2月1日発行  
(通巻254号)

# そ

## の日のうちに学校給食に

食育につながる地場野菜を届ける

羽村市農業後継者クラブ学校給食食材生産部

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は環境まちづくり委員会が担当しました。

【表紙の写真】(令和5年12月撮影) 学校給食センターに納品するブロックリー畑で、羽村市農業後継者クラブ学校給食食材生産部の皆さん

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。



▲給食センターへ朝8時までに納品。この日は、ニンジンと白菜で合わせて約344キログラム。

羽村市と瑞穂町の公立小・中学校全17校に1日約7000食の給食を提供する、羽村・瑞穂地区学校給食センターに地場産野菜を出荷しています。取組みが評価され、令和5年2月に東京都農業委員会・農業者大会の「企業的農業経営顕彰」の部で、東京都知事賞及び東京都農業会議会長賞を受賞しました。

農業後継者として

学校給食への納品の始まりは

宮川 豊さん(54)



羽村・瑞穂地区学校給食センターが開設された当時、

農業後継者クラブの先輩方の出荷が始まりました。その後にできた羽村市農産物直売所とも連携し、30年になります。JAにしたまの指導・協力のもと、現在では、6品目の契約栽培と、時期ごとのさまざまな野菜を出荷しています。

石田 正弘さん(63)



30歳の時に父が亡くなり、何も知らずに継ぎました。

農家の先輩方に教えられて経験を積みました。春から夏にかけてタマネギ、秋にはニンジンや長ネギを出荷しています。現在、農業委員会会長として農業振興や農地管理、後継者育成に務めています。

宮川 修典さん(44)



IT会社を辞め、父の跡を継ぎました。タマネギを出

荷しています。学校給食に携わり、新たな視点を持てるようになり、責任感を強く感じています。自家産野菜で餃子も作ります。

田村 克也さん(52)



12年前に勤めを辞め、家業の野菜農家を継ぎました。就

農と同時に後継者クラブに入会し、タマネギとニンジンで学校給食へ出荷しています。出荷した日に、市内の学校に通う子どもから「担任の先生が今日のタマネギ美味しいねって言うていたよ」と言われました。味が分かってもらえたようで嬉しかったですね。

### 早朝の大量出荷は大変ですね

**宮川(豊)** 朝8時までに、洗って大きさが揃った状態で給食センターに届けます。献立がカレーの日にはタマネギを400キログラム出荷。前日に雪が降ると収穫が大変なので、天気予報のチェックは欠かせません。納品する以上責任があるので、土日前の金曜日はホッとしています。

### 職場体験受け入れで食育も

**宮川(修)** 活動を通じ、食育への思いが強くなりました。通学路の途中に畑がある羽村市だからこそ、畑にもっと近付いてもらい、食べ物をもっと大切にすることを教えないといけないと思いますね。

**田村** 中学生の職場体験を受け入れており、時期が合えば学校給食用の野菜収穫の手伝いをお願いし

ます。収穫の際に、「明日の給食用だよ。君たちの責任だよ」と伝えると、後日「美味しかったよ」と言ってくれます。自分にとっても勉強になります。

**石田** 受注調整や清算などは、J Aにしたまが間に入り、また、需要の多いタマネギの定植機、収穫機を提供してくれて助かっています。

**田村** 市内なので、昨日収穫した野菜が給食として今日出ることが一番の魅力だと思います。土地に合った品種など、自分たちで出る技術向上に努めています。植え付けから学校給食まで、作物の成長のストーリーを子供たちに知ってもらいたいですね。

### 今後の農業の在り方や展望は

**石田** 国や都の支援は新規就業者に向けていますが、現在の課題は後継者の減少です。労働力に比べて農産物の低価格、相続税の大きさを農地を手放す人も多いのが現状で、都市農業における大きな課題です。今後も安心安全な野菜を届けていきたいです。

**宮川(修)** 地産地消は自分たちの顔が見えると同時に、作る野菜が自分だけのものではない。農家だ

から地域に還元できることがあると考えています。例えば、災害時などの緊急時に野菜を提供することも一つだと思います。畑の大切さを知ってもらいたいです。

**宮川(豊)** 作物には旬があるので、美味しい旬の時期に食べてもらいたいです。子供たちの感想も返してもらえると嬉しいので、栄養士の方と連携していきたいです。学校給食の経験から大量生産、供給のノウハウがあります。体験して農業の楽しさを皆さんに知ってもらえればうれしい。みんな、口下手だから(笑)。

## 羽村市農業後継者クラブ 学校給食食材生産部

- ✿**団体構成** 5人
- ✿**出荷野菜** 契約野菜6品目(チンゲン菜、タマネギ、ニンジン、長ネギ、白菜、大根)、時期ごとにハウレンソウやカブ、キュウリなども出荷しています。給食センターの地場産野菜使用率は約47パーセントで年間7万9346キログラムにもなります。

## インタビューを終えて

早朝の納品後、9時半からのインタビューでした。体と土地は切り離せない「**身土不二**」。その土地で採れた旬の食材が健康体をつくります。国内食料自給率が38パーセントまで減少する中で、農業に携わる皆さんの奮闘に敬意を表します。

\* \* \* \* \*

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。



▲地場産のニンジンとキャベツを使用した小学校の給食



▲小学校給食は1日4500食

# 議案審議

■第4回定例会（12月）に市長から提出された議案は、条例に関する議案16件、補正予算案3件、その他の議案3件、専決処分の報告2件、あわせて24件を可決・承認しました。

■議員提出議案は、意見書3件を可決しました。

■審査した陳情4件は3件が不採択、1件が趣旨採択となりました。  
主な議案の概要は次のとおりです。



## 市長提出議案

■高度の専門的な知識経験を有する人材を採用するための条例を制定

羽村市一般職の任期付職員  
の採用及び給与の特例に関する  
条例

【主な内容】 地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律及び地方公務員法に基づき、高度の専門的な知識経験を有する人材を任期を定めて採用することができる制度を導入するため、本条例を制定するものです。

【施行日】 令和6年1月1日

【議決結果】 原案可決

## 質疑

Q 任期付職員は、こういった業務に従事させる予定か。

A 防災・危機管理分野、法務や訴訟分野、情報技術分野などを想定している。

## 水道料金を引上げ

羽村市給水条例及び羽村市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例

【主な内容】 羽村市使用料等審議会の答申を踏まえ、受益者負担の適正化を図る観点から、水道料金を改定するため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 令和7年4月1日、令和6年4月1日

【議決結果】 原案可決

## 討論

【反対】 施行までの1年間の猶予は評価するが、異常な物価高の中、全市民が利用する水道料金の値上げは避けるべきであり、反対。

（日本共産党）

【賛成】 今後、1000万円程度の減収が見込まれている。経営努力を行うことを前提に適正な公共福祉の推進のため、賛成。

（新政会）

■下水道使用料を引上げ

羽村市下水道条例の一部を改正する条例

【主な内容】 羽村市使用料等審議会の答申を踏まえ、受益者負担の適正化を図る観点から、下水道使用料を改定するため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 令和6年10月1日  
【議決結果】 原案可決

■質疑

Q 下水道は全市民が使用するが、受益者負担を理由とし、物価高騰の中で値上げをする理由は。  
A 使用された分の料金を負担いただく考えであり、安心して使用いただけるよう、最善な経営を行うための適正な料金と捉えている。物価高騰の状況を勘案して、施行時期を答申より半年間延期した。

■討論

【反対】 物価高騰の中、誰もが使用する下水道使用料の値上げは避けるべきであり、反対。(日本共産党)

■賛成

今後の施設の整備などを踏まえた、収益収支の適正化の観点から、賛成。(新国会)

■ゆとりぎの施設使用料を引上げ

羽村市生涯学習センターゆとりぎ管理運営条例の一部を改正する条例

【主な内容】 羽村市使用料等審議会の答申を踏まえ、受益者負担の適正化を図る観点から、施設の使用料を改定するため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 令和6年4月1日  
【議決結果】 原案可決

■質疑

Q 市内と市外の方で料金を変えるところのことだが、確認方法は。  
A 団体での利用の際は、申請の際に名簿などで確認する。  
Q 利用率が30パーセントと低い中での引上げの理由は。  
A 利用率の低下は、コロナ禍の影響もある。施設の維持管理費が高騰していることと、施設の修繕

等が今後見込まれるためである。

■討論

【反対】 物価高騰が続く中で、受益者負担論での値上げは見送るべきであり、反対。(日本共産党)

議員提出議案

■意見書を可決しました

CV-22オスプレイの墜落事故に対する意見書

(要旨)

横田基地所属のCV-22オスプレイが鹿児島県屋久島沖に墜落したことに對し、原因究明と再発防止を求める。

【提出先】

内閣総理大臣、防衛大臣、北関東防衛局長

【議決結果】

原案可決

介護・障害福祉分野等における処遇改善等を求める意見書

(要旨)

政府に対して、介護職員等の賃

■賛成

近年の状況から施設の安全な維持管理のための適切な料金設定は妥当であり、賛成。(新国会)

【反対】 市民が気兼ねなく使用できるよう、現在の料金のままとすべきと考え、反対。(市民ネットワーク)

金水準を確保するための制度改革と同時に、職員の人権を尊重し生活を保障する取組みを迅速に推進することを強く求める。

【提出先】 厚生労働大臣、財務大臣、国土交通大臣

【議決結果】

原案可決

イスラム組織ハマスとイスラエルの紛争の即時停止を求める意見書

(要旨)

ガザ地区で起きている悲惨な状況を一刻も早く止め、和平に向けたわが国のリーダーシップの発揮を強く望む。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣

【議決結果】

原案可決

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(12月5日・8日・21日分)をご覧ください。

■市長提出議案の議決結果

<第4回定例会(12月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
専決処分の承認を求めることについて〔損害賠償額の決定について・令和5年11月24日専決〕→住民税非課税世帯等に対する価格高騰緊急支援給付金補助金及び臨時特別給付金補助金の超過交付額返還金の支払が遅延したため、損害賠償として延滞金を支払う必要が生じ、専決処分したため、議会の承認を求める。	原案承認	羽村市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例 →地方自治法の一部改正に伴い、関係する条例の一部を改正する。	原案可決
専決処分の承認を求めることについて〔令和5年度羽村市一般会計補正予算(第6号)・令和5年11月24日専決〕→歳入歳出それぞれ96万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ251億8,799万6千円とする必要が生じ、専決処分したため、議会の承認を求める。		羽村市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例 →P4	
羽村市情報公開条例の一部を改正する条例→市政情報の開示請求に対する写しの閲覧に係る実費を徴収するため、条例の一部を改正する。	原案可決	羽村市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 →関係法令の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。	
羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例→令和5年度に限り設定されていた市の都市計画税の特例措置が終了することに伴い、引き続き特例措置を設けるため、条例の一部を改正する。		令和5年度羽村市一般会計補正予算(第7号)→歳入歳出それぞれ1億3,170万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ253億1,970万5千円とする。	
羽村市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 →関係法令の施行に伴い、条例の一部を改正する。		令和5年度羽村市一般会計補正予算(第8号)→歳入歳出それぞれ8,523万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ254億494万4千円とする。	
羽村市学童クラブ条例の一部を改正する条例→令和6年4月1日から羽村市立富士見小学校内に新たに学童クラブを開設するとともに、児童福祉法及び国の放課後児童クラブ運営指針に基づく文言等の整理を行うため、条例の一部を改正する。		令和5年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第2号)→歳入歳出それぞれ46万5千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ15億1,741万6千円とする。	
羽村市駅前駐車施設の設置及び使用に関する条例の一部を改正する条例 →駐車施設の使用料を改定するため、条例の一部を改正する。		旧自然休暇村解体工事の変更契約について→旧自然休暇村解体工事について、構造物除却後の植栽工事の実施時期に変更が生じたことから工期を変更する。	
		羽村市動物公園の指定管理者の指定について→羽村市動物公園に係る指定管理者を指定する。【指定管理者の名称】株式会社横浜八景島【指定の期間】令和6年4月1日～令和9年3月31日	
		羽村市スイミングセンターの指定管理者の指定について →羽村市スイミングセンターに係る指定管理者を指定する。【指定管理者の名称】大和興産株式会社・特定非営利活動法人羽村市体育協会【指定の期間】令和6年4月1日～令和10年3月31日	

<第4回定例会(12月)で賛否の分かれた議案> (12月8日)

件名	会派名(数字は人数)								議決結果
	新 (6)	公 (4)	令 (2)	共 (2)	ネ (1)	都 (1)	世 (1)	双 (1)	
羽村市事務手数料条例の一部を改正する条例→印鑑登録証明等の事務手数料を改定するとともに、戸籍法の改正に伴い、新たに規定する事務を追加し、また、租税特別措置法の改正に伴い、手数料を徴収する事務の整理を行うため、条例の一部を改正する。	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
羽村市生涯学習センターゆとりぎ管理運営条例の一部を改正する条例 →P5	○	○	○ ×	×	×	○	×	○	
羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例→スポーツセンターの施設使用料を改定するため、条例の一部を改正する。	○	○	○	×	×	○	×	○	
羽村市富士見斎場条例の一部を改正する条例→斎場の使用料を改定するため、条例の一部を改正する。	○	○	○	×	○	○	○	○	
羽村市産業福祉センター条例の一部を改正する条例→産業福祉センターの使用料を改定するため、条例の一部を改正する。	○	○	○	×	○	○	○	○	

<第4回定例会(12月)で賛否の分かれた議案> (12月21日)

件名	会派名 (数字は人数)								議決結果
	新	公	共	ネ	都	世	令	双	
	(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市下水道条例の一部を改正する条例 →P5	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市給水条例及び羽村市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例 →P4	○	○	×	○	○	○	○	○	
羽村市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例 →粗大ごみの排出等の手数料を改定するため、条例の一部を改正する。	○	○	×	○	欠	○	○	○	

■議員提出議案の審議結果

件名	議決結果
CV-22オスプレイの墜落事故に対する意見書 →P5	原案可決
介護・障害福祉分野等における処遇改善等を求める意見書 →P5	
イスラム組織ハマスとイスラエルの紛争の即時停止を求める意見書 →P5	

■陳情の審議結果

件名	審査した委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での議決結果
		新	公	共	ネ	都	世	令	双	
		(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
「ガソリン価格の高騰対策として、トリガ一条項の発動とガソリン税・軽油取引税への消費税課税停止・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書	総務委員会	×	×	○	○	×	×	○	×	不採択
「脱原発・脱炭素と再生可能エネルギーへのエネルギー転換に向けた政策を加速することを求める意見書」提出を求める陳情書	環境まちづくり委員会	□	□	—	—	□	—	□	—	趣旨採択※
羽村駅西口土地区画整理事業(羽村大橋東詰)に関する陳情書		×	×	×	欠	×	○	×	×	不採択
羽村市福祉事務所処務規程第5条の「所長は、上司の命を受け」の改正を求める陳情	文教厚生委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

※趣旨採択を求める討論と採決(採択)を求める討論があり、まず趣旨採択を諮った結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

凡例

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※表中の二段書きは、会派内で賛否が分かれたことを表します。

■会派名 ■ 陳情 / ○…採択 ×…不採択 □…趣旨採択 欠…欠席

新…新政会 公…公明党 令…令和かがやき(立憲・無所属) 共…日本共産党  
 ネ…市民ネットワーク 都…羽村市議会都民ファーストの会 世…世論 双…双葉会

# 一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第4回定例会では、

12月5日、6日、7日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、12月時点のものです。



《Q》市内事業所の減少が続く要因は

《A》国内需要の減少や人材不足による廃業などである



櫻沢 裕人 議員（新国会）

## 産業振興について

**質問** 市内事業所の減少が続く要因は。

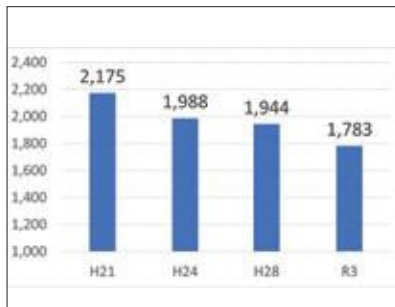
**市長** 人口減少に伴う国内需要の減少や人材不足による廃業などが挙げられる。

**質問** 教育機関と連携した人材育成等への取組みは。

**市長** 今年度、羽村市商工会が都立羽村高校の生徒を対象とした市内企業へのインターシップを検討していると聞いている。

**質問** 市内の多様な業種・分野が相乗的に発展するために、各業種・分野間の連携をどう想定しているか。

**市長** 企業間マッチングや支援の充実を図り、新しい技術やサービスを持つ新たな事業や付加価値の創出等により、産業全体の活力向上に取り組む。



羽村市内の事業所数(第二次羽村市産業振興計画、令和3年経済センサスより)

**男性の※HPVワクチンの接種について**

**質問** 国や東京都等の動きは。

**市長** 国は予防接種法上の定期接種としての位置付けについて検討を開始した。都の保健医療局は、ワクチン接種費用の市区町村への補助事業に係る経費を、令和6年度当初予算に要求した。

**質問** 男性のHPVワクチンの接種に関する情報を市民に提供してきたか。

**市長** 男性は予防接種法上の任意接種であり、積極的に勧奨を行う定期接種とは異なるため、情報提供していない。

**質問** 学校でのHPVやワクチン等への教育は。

**教育長** 中学校保健体育の保健分野で指導を行っている。

※HPVワクチン：子宮頸がんなどのヒトパピローマウイルスに関するがんや感染症を予防するワクチン。





《Q》重層的支援体制整備事業の支援をどう捉えているか

《A》支援機関等が連携し伴走支援する体制の構築が重要



金子 ひとみ 議員 (公明党)

「重層的支援体制整備事業」  
で安心な暮らしを

これまでの福祉制度・政策と支援ニーズとの間にギャップが生じてきたことを背景に、厚生労働省は、社会福祉法改正により重層的支援体制整備事業を創設した。

質問 重層的支援体制整備事業の支援を、市はどのように捉えているのか。  
市長 支援関係機関等が相互に連携し、本人や世帯に寄り添い、伴走支援する体制を構築することが重要である。今後の対応について子ども家庭部と福祉健康部が検討を開始している。

質問 複合的な問題を抱える相談に対し、関係する部署はどのように連携しているのか。  
市長 関係部署が組織横断的に連携し、きめ細やかな支援に取り組んでいる。

多文化共生のための教育と  
アイヌ文化について  
質問 学校教育における多文化共生の知識や理解を深めるために必要なことは。



アイヌの伝統的な文化や伝承活動を紹介した事業(プリモホールゆとろぎ)



教育長 伝統・文化を理解・尊重し、文化交流を行うための資質や能力を育むことである。各学校では多文化共生の基盤となる道徳的な判断力、心情、実践意欲や態度を育んでいる。

質問 多文化共生、アイヌ文化振興について普及啓発を進めては。  
市長 ささまざまな事業を実施している。誰もがお互いの生活や文化を尊重した、多文化共生に関する理解促進、普及啓発に取り組む。

《Q》認知症基本法を受け、推進基本計画が必要では

《A》国や都の計画内容を確認し、策定を検討していく



中嶋 勝 議員 (公明党)

「高齢社会」へ  
認知症対策の充実を

質問 令和7年には65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されている。市も同様に推計しているのか。  
市長 高齢化の進展とともに、要介護・要支援認定者数は増加すると予測されており、それに伴い認知症の高齢者も増加していくものと捉えている。

質問 国の認知症基本法の成立を受け、市でも推進基本計画が必要ではないか。  
市長 今後、国や東京都の計画内容を確認したうえで、策定を検討していく。

質問 大きな事件や事故を起こした場合の賠償保険への加入や一部助成をしては。  
市長 国や都、近隣自治体の動向を注視していく。  
質問 コロナ禍でストップしている認知症カフェの再開は。  
市長 主催者との情報共有等を行い、再開に向け支援していく。

コロナ禍で、市内6か所のオレンジカフェのうち、5か所が開催できていない

その他の質問  
■公共施設のマネジメ  
ントについて



《Q》羽村大橋拡幅工事の現在の進捗は

《A》基礎資料を得るための地質調査を実施している



石居 尚郎 議員（公明党）



東京都が工事を行う羽村大橋

**都市計画道路3・4・12号線  
周辺の課題について**

**質問** 東京都が進めている羽村大橋拡幅工事の進捗は。

**市長** 玉川町内で、橋台や橋脚の構造設計に必要な基礎資料を得るための地質調査を実施している。今後、羽村大橋桁下付近で事業地整備工事が予定されている。

**質問** 神明台2丁目物流倉庫建設工事に伴う安全対策は。

**市長** 資材の運搬車両の搬出入を西多摩産業道路から市道第202号線を利用して計画地内に進入し、出口を西多摩産業道路方向にすることで安全対策を図っている。また、車両出入り口には誘導員を配置するとの

ことである。  
**学校教育の課題に  
真正面から挑戦を**

これまで重ねて質問してきた中で、羽村市教育ビジョンと特別支援教育について質問した。

**質問** 教育ビジョンやコミユニティ・スクール実施に際し、わかりやすい言葉で共感の輪を広げるべきでは。

**教育長** 今後の学校の在り方についても理解いただけるよう、わかりやすく、簡潔にまとめていく。

**質問** 通常学級における気になる児童・生徒の対応への対策は。

**教育長** 各校2人以上の教員を、特別支援教育コーディネーターとして指名し、校内における支援や関係機関との連携を図っている。また、特別支援教育に関する研修会を実施している。

ことである。  
**学校教育の課題に  
真正面から挑戦を**



《Q》新たな財源確保に向けた取組みは

《A》遊具メーカーとネーミングライツ協定を締結した



富永 訓正 議員（公明党）



にっぽく（江戸街道公園）

**新たな財源の確保に向けて**

さらなる創意工夫で新たな財源確保手段の拡大を。

**質問** ネーミングライツ・パートナーや企業版を含めたふるさと納税の新たな拡大に向けた取組みは。

**市長** 新たに市内の遊具メーカー、日都産業株式会社とネーミングライツ協定を締結。江戸街道公園に遊具等の提供を受け、愛称を「にっぽく」と定めた。

**質問** 市役所や他の公共施設で、施設の特徴、用途、地域性を鑑みた広告掲載を

しては。

**市長** 市の歳入獲得につながる取組みである。あらゆる施設等で有料の広告が導

入できないか検討する。  
**若者の活躍で  
希望あふれる羽村市に**

市は「(仮称)羽村市こども計画」策定に取り組んでいる。市も若者とともに考え、関心を抱き、支援していくことが重要である。

**質問** 策定に向け、若者支援の視点での目的、方向性などをどう考えているか。

**市長** 若者への意見聴取や、子ども・子育て会議の意見などから方向性を整理する。

**質問** 若者主体のまちづくりに関する協議体等を設置しては。

**市長** 若者が参画しやすい環境整備が重要。引き続き、調査研究する。

**質問** 子供や若者が取り組む公益的な活動に対して、経費の一部を補助しては。

**市長** 先進事例なども踏まえ、子供・若者の育成支援へ具体的な取組みなどについて検討する。

ことである。  
**学校教育の課題に  
真正面から挑戦を**



### 《Q》現場代理人常駐義務の緩和について市の考えは

### 《A》義務付けており他工事と兼務できないが、今後見直す



秋山 義徳 議員（新政会）



市内道路建設工事現場

#### 市内建設業者の抱える課題について

**質問** 市の工事請負契約における現場代理人および監理技術者等の常駐義務の緩和について、市の考えは。

**市長** 市が発注する工事では、適切な施工のため、工事現場への現場代理人や監理技術者の常駐を義務付けており、他の工事との兼務はできないこととしている。常駐義務を緩和した場合、他の工事との兼務が可能になり、効率的な人員配置、工事の生産性向上、受託機会の拡大等の効果が期待される。すでに実施している東京都や近隣自治体では大きな課題は生じていないと

のことから、見直しを進めていく。

#### 羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する検討報告について

#### 質問

1月に方針を示すとの事だがどのような考えか。

**市長** 検討報告書等に基づき、令和6年1月には、羽村駅西口地区の将来を見据え、権利者の皆さまの負担軽減を第一に考慮した令和6年度からの実施計画を立案していきたい。

**質問** 区画整理以外の手法を取った場合、新たな事業計画が必要になり、事業は一時中断されるのか。

**市長** 土地区画整理事業以外の手法を一部に取り入れる場合、必然的に事業計画の変更が必要である。新たな事業計画が決定するまで事業は一時停止すると捉えている。



### 《Q》急げ！カスハラ対策！

### 《A》東京都の検討状況を見て啓発に努める



大塚 あかね 議員（令和かがやき（立憲・無所属））

#### カスタマーハラスメントのない職場づくり

カスタマーハラスメントは社会問題となっている。

通常業務への支障や従業員への精神的ストレスなど、企業活動に影響を及ぼすカスハラ対策は急務である。

**質問** 市内事業所の被害状況は。

**市長** 羽村市商工会が過去に相談を受けたケースがあると聞いている。

**質問** 被害にあった場合の対策は取られているのか。

**市長** 羽村市商工会では、被害にあった方の安全確保や精神面の配慮等を行うよう指導していると聞いている。

**質問** 市役所内の状況は。

**市長** 大きな声で叱責される

たり、長時間に渡るものもあるが、カスハラと断定したものはない。

**質問** 防止措置などの対策は。

**市長** 不当行為等・行政対象暴力対応マニュアルを作成し、周知している。

**質問** 加害者にならないために市民への啓発が必要では。

**市長** 東京都の検討状況を注視し、適宜啓発に努める。

**質問** コミュニティバス「はむらび」に関する課題について

**質問** 羽村東コースの運行ルートやダイヤの見直しはいつ行われるのか。

**市長** 令和6年2月に運行ルート及びダイヤ改正を行う準備を進めている。

**質問** 車両の老朽化が著しいが、定期的に買い替えを行うのか。

**市長** 計画的に入れ替えを行っていく。

市内スーパーのカスタマーハラスメントに関するポスター



《Q》地域福祉に欠かせない民生・児童委員の欠員対策は

《A》定員 52 人に欠員 18 人。補充に向け職員が交渉中



民生委員・児童委員の

欠員補充を

**質問** 欠員に対して、どのような対策を打っているか。

**市長** 定員 52 人に対し、現在 18 人の欠員が生じている。町内会長・自治会長や、全ての市職員にも候補者の情報提供を依頼し、担当部署が交渉を行っている。

水道管路の老朽化・

耐震化対策の強化を

浜中 順 議員（日本共産党）

市の水道管路は老朽化が進み、耐震化率も東京都の 48 パーセントに対して市は 6・57 パーセントと大変遅れが出ている。

**質問** 首都直下地震が起きた場合、その規模に応じた給水状況をどう予測し、どう対応するのか。



災害時の断水等の影響を最小限にするため、耐震管への管種替えをする様子

**市長** 上水道の断水率が 67・1 パーセントと想定され都内で最も高く、給水の復旧には一定期間を要すると想定されている。しかし、応急給水や東京都小作浄水場からの受水体制も整えている。

保育への運営支援の強化を

保育現場では、子供やその

の家族に関連した対応、課題を抱える子供の受け入れ、さらに職員確保などが困難の中でも、子供たちや保護者に丁寧に対応している。

**質問** 全国的に小・中学校の給食費の無料化が進んでいる。保育園でも 3 歳児から 5 歳児が実費徴収されている副食費の市の補助を検討すべきでは。

**市長** 副食費は、区市町村に統一的な対応が図られることが望ましいと考え、国や東京都に対し東京都市長会を通じて要望している。



《Q》今後の水上公園の運営についての考えは

《A》令和 7 年度までに、新たな活用方法等を決定



にぎわいあふれる

まちづくりについて

**質問** 今後の水上公園の運営についての考えは。

**市長** 市民の皆さまが年間を通じて利用できる施設として整備することを前提として、あり方を検討していく。多摩川周辺がもつポテンシャルを生かした活用方法について情報収集を行っている。

菅 勇真 議員（双葉会）

引き続き検討を進め、令和 7 年度までに、新たな活用方法等を決定していく考えである。それまでは、じゃぶ池として活用する。

羽村市の教育について

**質問** 不登校対策について、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問の回数は。



現在、休止している水上公園

また、家庭訪問後の児童・生徒の実情等を学校と共有できているか。

**教育長** 不登校対策における家庭訪問を含む対応は、

第一義的に学級担任が行っている。スクールソーシャルワーカーは主に関係機関との調整を行っており、限られた場合に家庭訪問を行っている。訪問回数は延べ 7 回であり、家庭訪問を行った際は、当日中に管理職や担任等に報告し、児童・生徒の状況や訪問の内容を情報共有するとともに、その後の対応についても確認を行っている。

市民の声について

**質問** 長期的な視野で見た市の交通網への考えは。

**市長** 多摩地域の産業振興や、南北方向の公共交通の充実を図るため、多摩都市モノレールの延伸など、広域的な地域を結ぶことのできる公共交通機関の整備が重要である。



### 《Q》児童虐待防止推進月間における市の取組みは

### 《A》相談窓口の周知とリーフレットを活用した啓発を実施



野崎 和也 議員（新政会）

**虐待を起させない  
地域で見守る環境づくりの  
実現に向けて**

**質問** 令和4年度に児童虐待相談として、市が対応した件数は。

**市長** 過去最多の6850件で、令和3年度と比較し、18・6パーセント増加している。

**質問** 児童虐待防止推進月間における市の取組みは。

**市長** 虐待に気付いた方が速やかに相談や通告ができるよう、児童相談所全国共通ダイヤル189など児童虐待に係る相談窓口を周知し、リーフレットを活用した啓発を実施している。

#### ナッジ理論の

#### 政策活用について

ナッジ理論は比較的少ない費用負担で人々の自発的な望ましい行動を促すことができるため、有効な政策形成手段の一つである。



児童虐待防止を普及啓発するシンボルのオレンジリボン

い費用負担で人々の自発的な望ましい行動を促すことができるため、有効な政策形成手段の一つである。

**質問** 全庁的に職員の資質リテラシーとして保有すべきスキルと考えるが、所見は。

**市長** データ分析などの手法を活用し、EBPM（証拠に基づく政策立案）の推進に取り組んでいる。研修の実施も含め、EBPMの推進と一体的に取り組んでいけるよう対応する。

#### 町内会・自治会の

#### 防災体制の強化

**質問** 東京都が実施した関東大震災100年 町会・自治会防災力強化助成事業の制度を利用した町内会・自治会はどのくらいか。

**市長** 各町内会・自治会が都へ直接申請するものであり、数や購入した防災備蓄品について、市では把握していない。



### 《Q》上下水道料金は引き上げるべきではないのでは

### 《A》料金の改定内容などを、慎重に検討している



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

**物価高が続くも、公共料金  
値上げはストップしよう！**

物価高が続くもと、公共料金の値上げは行わず、市の内部努力を強めることを求めたい。

**質問** 上下水道料金の引き上げは、行うべきではないのでは。

**市長** 施設の更新・耐震化のために必要であり、現在の料金の改定時期などを慎重に検討している。

**質問** ごみ袋の料金など、ごみ処理手数料の引き上げは行うべきではないのでは。

**市長** 西多摩衛生組合の構成自治体とも連携しながら検討していく。

**質問** 来年度からの値上げ



羽村市水道事務所

を検討しているものは何か。  
**市長** ゆとりぎ使用料や住民票交付手数料など、使用料4件と手数料24件の増額の改定案を今次定例会に提案している。

#### 羽村駅西口土地画整理 事業はどうなるのか？

**質問** 今回示された「検討報告書」では、エリアを5つに分けて検討している。なぜ5つとしたのか。

**市長** 都市計画道路の位置を考慮し、既存道路を境界として区割りをした。

**質問** 「修復型の区画整理」手法は、十分に導入可能ではないか。

**市長** 部分的な整備となり、導入は難しいと捉えている。

**質問** 結局、ほとんど変更なしで進めることになるのではないか。

**市長** 令和6年1月に、実施計画を立案していくこととしており、現時点でお答えすることは難しい。



《Q》都道優先整備地区の移転拒否にはどう対応するか

《A》事業の進捗が困難となる



山崎 陽一 議員（世論）

区画整理撤回要求第66弾

羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する検討を問う。

質問 なぜ東京都区部ガイドラインを検討に使ったか。

市長 基準事例が少なく、事業を見直した昭島市も参考にした。都の指示ではない。

質問 市長の「議員も共に考えてほしい」の真意は。

市長 事業検証を掲げ市政を行ってきた。議員も都市基盤整備について考えてほしい、との想いである。

質問 区画整理でも事業費、住民負担の軽減が必要と言

う。具体的手法は。

市長 整備手順の工夫、不要移転の検討、先行取得用地の活用は3点である。



「市は指示していない」と言う、鉄扉で閉鎖された495万円で整備した本町一広場

質問 裁判原告1000人以上が移転拒否なら事業は出来ないとの質問に「重々承知している」の答弁の真意は。

市長 移転が滞ることが見込まれ、事業の進捗が困難になるとお答えした。

質問 優先整備の都市計画道路3・4・12号線、駅前広場に関する地域で移転拒否ならどうするか。

市長 進捗が困難となる。

質問 進捗率は事業費面30パーセント。移転棟数は18パーセント。単純計算で1.5倍。事業完了まで事業費は200億円増加する。どうするか。

市長 施行期間はこの先13年。推量は困難である。

質問 本町一広場は鉄扉で閉鎖されている。対応は。

市長 皆さまに自由に利用される場所である。維持管理は町内会、利用者の協力をで行う。



《Q》介護離職ゼロに向けて何が必要か

《A》制度を利用しやすい機運を醸成し、活用すること



馳平 耕三 議員（令和かがやき（立憲・無所属））

介護離職はなぜ増えているか

平成27年、安倍内閣は介護離職ゼロを目標に定めた。しかし、令和4年には10万人を超えた。仕事と介護の両立はどうあるべきか問う。

質問 市の介護離職者数を把握しているか。

市長 把握していない。

質問 市職員で介護休暇制度を利用した職員は。

市長 直近の5年間で1人である。

質問 介護休暇制度は周知が進んでいないのでは。

市長 職員にはハンドブックを作成し周知を行い、市民には国や東京都の取組みを周知していく。



介護に関する相談ができる地域包括支援センター

質問 介護離職ゼロを進めるために何が必要か。

市長 両立支援制度を利用しやすい機運を醸成し、活用することである。

市長が公約で掲げた羽村駅西口土地区画整理事業の検証について

質問 市長の公約の区画整理の検証とは、財政面からの検証ではなかったのか。

市長 仮住まいされている皆さまの仮換地先への返地、都市計画道路3・4・12号線や駅前交通広場の早期整備を合理的かつ効果的に実施していくことで事業費の削減につながり、財政の健全化となると捉えている。

質問 今後、現計画よりさらに事業費が膨らむのでは。

市長 本事業の現在の事業計画を執行していくうえで、事業費の上昇を抑制していくことも重要と考えている。

■その他の質問  
羽村市の教育の諸課題を問う



《Q》学校の長寿命化工事で耐用年数は何年延伸できるか

《A》おおむね30年延伸できると考えている



門間 淑子 議員 (市民ネットワーク)

未来につながる

学校教育環境の整備を

質問 学校の規模についての検討状況は。

教育長 今後、児童・生徒数の減少が予想される。市内小・中学校の適正規模・適正配置について、標準規模を踏まえつつ、市の地理的特性や教育効果等も考慮し、議論している。

質問 令和7年、17年、27年、37年の小学校・中学校の在籍予測は。

教育長 令和7年は小学校2357人、中学校1313人。17年は小学校2082人、中学校1106人。27年は小学校1757人、中学校945人。37年は小



羽村第一中学校

学校1475人、中学校800人と予測している。

質問 将来の学校のあり方について、市民参加のワークショップ開催を検討してはどうか。

教育長 学校の適正規模・適正配置について年度内にとりまとめ、市民に公開する。その後、羽村市公共施設等管理計画に基づき具体案を作成する段階で、市民の意見を聞く場を設ける。

質問 羽村第一中学校の劣化度調査が始まるが、工事完了までの年数は。

教育長 令和6年度に劣化度調査、7年度に基本設計、8年度に実施設計、9から10年度に工事の予定である。

質問 長寿命化工事で学校の耐用年数はどれほど延伸するか。

教育長 おおむね30年延伸できると考えている。

■その他の質問  
羽村駅西口地区は人口減少社会に見合った整備手法に変更を



《Q》人間ドック費用に助成を！

《A》各種検診を実施しており、助成の考えはない



濱中 俊男 議員 (羽村市議会都民ファーストの会)

人間ドック助成について

質問 かつて市が行った人間ドック助成制度の内容は。

市長 平成16年度まで実施した、40歳以上の市民を対象に公立福生病院の日帰り人間ドック費用を半額助成する事業である。

質問 この助成制度を廃止した背景は。

市長 検査項目の多くが市が実施していた検診の検査項目に包含されていたため。

質問 市で助成する考えは。

市長 各種検診を実施し、生活習慣病予防対策への取り組みは充足しているため、助成する考えはない。  
スタディークーポンについて  
スタディークーポン事業



公立福生病院

は、東京都の補助金を活用し、生活保護を受給している小学生から高校生の学習塾費用の一部に充てる、クーポン券支給事業である。

質問 実施している自治体は。

市長 多摩26市では、多摩市と国立市である。

質問 実施する考えは。

市長 現状の支援策で一定の対応が出来ており、実施する考えはない。

中央線と青梅線の速達化・利便性向上について  
質問 三鷹・立川間の複雑化の進展状況は。

市長 計画はあるが、工事着手には至っていない。

質問 中央線快速グリーン車導入をどう聞いているか。

■その他の質問  
羽村駅西口土地区画整理事業促進に向けて



《Q》中学校にeスポーツ部を設置しては  
《A》学校にはない活動も含め、環境整備を進める



池澤 敦 議員（新政会）

eスポーツと「まちづくり」について

近年、若者を中心に注目を集める新たな競技であり、将来的にはオリンピック種目に採用される見通しのeスポーツ。巨大産業に成長する可能性を秘めている。

**質問** eスポーツは、市の新たな産業の一つになると考えるが、市の見解は。

**市長** eスポーツは、激しい身体活動を伴わないことから、年齢を問わず取り組みやすく、誰でも参加し、楽しめる競技である。その特性を生かし、新たな産業の一つになる可能性があると考え、研究していく。

**質問** 中学校にeスポーツ部を設置しては。

**教育長** 部活動の地域移行によって、eスポーツなど、これまで学校になかった活動も含め、多様な活動に子供たちが参加できる環境の整備を進めていく。

ヒノトントンZOOと市のプロモーションについて

ヒノトントンZOOの年間来園者数は約21万人。現在、「はむりん」とのコラボレーション商品などがなく、市のPRが十分でない現状があると考える。

**質問** 園内で「はむりん」のグッズが販売されていないのはなぜか。

**市長** 品揃えは、指定管理者の経営的な判断により調整されている。民間事業者からの意向が市に寄せられれば、ヒノトントンZOOに繋げる。



ヒノトントンZOO内の土産売場の一角



会派名簿

新政会

櫻沢 裕人 池澤 敦  
野崎 和也 秋山 義徳  
高田 和登 富松 崇

公明党

金子ひとみ 勝  
中嶋 訓正  
富永 尚郎  
石居 尚郎

令和かがやき  
(立憲・無所属)

大塚あかね  
馳平 耕三

市民ネットワーク

門間 淑子

世論

山崎 陽一

羽村市議会都民ファーストの会

濱中 俊男

双葉会

菅 勇真

日本共産党

浜中 順  
鈴木 拓也

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

特別委員会行政視察報告

基地対策特別委員会

日にち 10月6日

視察先 航空自衛隊横田基地  
(東京都福生市)

航空自衛隊の機能や周辺地域との連携などについて説明を受け、情報・意見の交換を通して、現状と課題を委員間で共有しました。

▼視察報告書



多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会

日にち 11月6日

視察先 多摩都市モノレール株式会社(東京都立川市)

モノレールの車両や搭載機器などの見学を行い、説明を受けました。事業運営についての情報を委員間で共有しました。

お詫びと訂正

第144号(令和5年11月1日発行)の16ページに掲載の高田和登議員の会派名に、誤りがありました。正しくは「新政会」です。お詫びして訂正いたします。



# 議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に  
関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

## 令和5年11月1日～令和6年1月31日の主な活動

### 11月

- 2日 ■ 第6回文教厚生委員会
- 第3回議会改革推進委員会
- 第4回基地対策特別委員会
- 6日 ■ 多摩都市モノレール建設促進及び公共交通  
対策特別委員会行政視察(多摩都市モノレ  
ール株式会社)
- 全国市議会議長会基地協議会第107回理事会
- 8日 ■ 令和5年第2回瑞穂斎場組合議会定例会
- 13日 ■ 文教厚生委員会調査研究活動(羽村私立保  
育園協議会との懇談会)
- 文教厚生委員会行政視察(立川市)
- 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 14日 ■ 第6回議員全員協議会
- 16日 ■ 令和5年第3回羽村・瑞穂地区学校給食組  
合議会定例会
- 17日 ■ 令和5年第3回青梅、羽村地区工業用水道  
企業団議会定例会
- 第6回西多摩市町村議長意見交換会
- 20日 ■ 東京都市議会議長会理事会・定例総会
- 24日 ■ 令和5年第2回西多摩衛生組合議会定例会  
・議員全員協議会
- 令和5年第2回東京都後期高齢者医療広域  
連合議会定例会
- 27日 ■ 第6回議会運営委員会
- 令和5年第2回福生病院企業団議会定例会
- 30日 ■ 環境まちづくり委員会市民インタビュー(羽  
村市農業後継者クラブ学校給食食材生産部)

### 12月

- 4日 ■ 第7回議会運営委員会
- 5日 ■ 第8回議会運営委員会
- 第4回羽村市議会定例会(初日)

- 6日 ■ 第4回羽村市議会定例会(2日目)
- 7日 ■ 第4回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 第4回羽村市議会定例会(4日目)
- 12日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
- 13日 ■ 第4回環境まちづくり委員会
- 第7回文教厚生委員会
- 14日 ■ 第4回総務委員会
- 18日 ■ 第9回議会運営委員会
- 20日 ■ 令和5年度議員研修会(「ハラスメントなぜ  
起こる～ハラスメント最新事情 議会対応  
について考える～」)
- 21日 ■ 第4回羽村市議会定例会(最終日)
- 22日 ■ 第4回議会改革推進委員会
- 25日 ■ 第7回広報委員会

### 1月

- 11日 ■ 令和6年第1回広報委員会
- 16日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3  
委員会
- 令和6年第1回議員全員協議会
- 17日 ■ 令和6年第1回文教厚生委員会
- 令和5年度議員研修会(「『政策に強い議会』  
をつくる～その視点と方法～」)
- 22日 ■ 東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会
- 第5回議会改革推進委員会
- 第2回広報委員会
- 25日・26日
- 総務委員会行政視察(大阪府河内長野市・  
堺市)
- 31日 ■ 全国市議会議長会基地協議会(理事会・総  
会・意見交換会)
- 令和6年第1回東京都後期高齢者医療広域  
連合議会定例会

## 令和6年能登半島地震に伴う 災害義援金の送金について

羽村市議会議員会は、被災され  
た方々の一日も早い復興を願い、  
1月17日に石川県令和6年能登半  
島地震災害義援金口座に10万円を  
送金しました。



## 謹んでお悔やみ申し上げます

### 大塚あかね議員

令和5年12月15日ご逝去(享年62歳)  
所属会派 令和かがやき(立憲・無所属)  
所属委員会 文教厚生委員会(委員長)  
平成19年5月～市議会議員(5期目)

# 環境まちづくり委員会

## 行政視察報告

10月30日～31日に、静岡県浜松市と南信州 飯田産業センター（長野県飯田市）を視察しました。

### 〈静岡県浜松市〉

#### エネルギースマート シティについて

#### 市独自のエネルギー政策

浜松市は人口79万人。自動車・二輪車、楽器等の製造が盛んである。市民生活や産業を支えるエネ



▲後列左から山崎副委員長、池澤委員、秋山委員、櫻沢委員、富永委員、前列左から浜松市職員の皆さん、高田委員長

#### 羽村市における省エネの活用

羽村市では、民家・工場の屋根

2015年に(株)浜松新電力を官民の共同出資で設立し、市内の再生可能エネルギー等の地産地消システムを担っている。現在は公共施設を中心に電力を供給しているが、今後は市民向けの供給も検討している。

ルギー確保を積極的に推進するため、「浜松市エネルギービジョン」を策定している。2050年度に再生可能エネルギー電力自給率100%を目標に、日照時間が日本一である市の特徴を生かして、太陽光発電、風力発電や廃棄物を活用したバイオガス発電、小水力発電等の導入を計画している。

を活用した太陽光・太陽熱発電や多摩川などの水源を活用した小水力発電など、再生可能エネルギー活用之余地がある。活用には、自然・生活環境に与える影響を十分考慮することや、地域との対話を進めることの重要性を改めて認識した。



▲浜松市では太陽光発電施設の導入を積極的に行っている

### 〈静岡県浜松市〉

#### リノベーション まちづくりについて

#### 遊休不動産の活用

浜松市では中心市街地などで店舗やオフィスの減少が続ぎ、遊休不動産を活用する取組みとして、市で事業を始めたい企業・個人向けにリノベーションスクールを開催している。このスクールでは、市内の空き物件を見学し、事業を

取組みの効果  
この取組みは地域再興へ寄与するだけでなく、職員自ら空き物件を探し、人材を発掘することで地域と行政がつながるといふ副次的な効果をもたらすことも考えられる。地域の持続可能な発展に向けた取組みであり、将来ビジョンの示し方や市民との協働など、羽村市における遊休不動産の活用を考える際の参考となった。



▲整備された高架下の公共空間「新川モール」。休日は様々なイベントが開かれている



▲「エス・バード」エントランスの試験機

## 〈南信州・飯田産業センター 「エス・バード」(長野県飯田市)〉 産業振興と人材育成

### 山国・信州で航空宇宙産業を

南信州・飯田産業センターは地域産業振興の支援機関。業界団体の事務局や講座室、実験棟などが置かれ、新規産業の発展や人材育成を行う中核施設「エス・バード」の指定管理者である。

「エス・バード」は、南信州広域連合、長野県工業技術総合センターや信州大学などと連携し運営されている。信州の「S」、航空機を「鳥(BIRD)」にイメージした愛称で、エントランスには、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が高速飛行実験をした小型ロケットが展示され、来訪者を迎える。



▲研究設備や研修講座、行政窓口などさまざまな機能を備える「エス・バード」

この施設での取組みの中心は航空宇宙産業。航空機部品は気圧、温度、振動にも耐えられる精度や強度、信頼性が必要である。ねじ、歯車、ワイヤーなどの製品開発に取り組み中小企業の要望に応じて工業技術試験研究所に各種の試験測定装置を設置して対応する。南信州地域の製造業は約300社。航空機分野の主要企業は12社で、共同受注やシステム装備品の連携・協働も支援している。

### 工業高校の空き校舎を活用

飯田市は人口約10万人。長野県南部の中央・南アルプス山麓の盆地で、諏訪湖を源流とする天竜川の流域。日照時間が長く空気も清

廉。戦時中に疎開した精密機器工業の伝統もある。「エス・バード」の建物は、高校統合の空き校舎利用を国、県、信州大学と検討し、「航空宇宙産業と人材育成」の拠点として、地方創生交付金10億円や県の補助金を活用して再整備された。施設整備・機器導入に約27億円を投入、「長野県航空産業振興ビジョン」に沿い、10年間は航空機研究を優先し事業を行っている。

### 大学との連携で、人材育成も

信州大学の「航空機システム研究講座」は1期4年間で昨年までに19名が終了し、航空機メーカーなどに就職した。また、100年先の都市計画としての「ランドスケープ研究講座」や「社会人育成講座」などで人材育成も牽引。

食品棟では地元農産物を使った伝統的な発酵食品や干し柿などの乾燥食品の研究会を開き、新製品やブランド化を支援。和紙を原料にした「水引き」は付加価値の高い逸品である。農業、商業、観光などの異分野交流での新たなサービス提供も進め、持続可能な地域振興を目指している。

### 太平洋に開く窓

飯田市は中央自動車道で名古屋までは約1時間半。リニア中央新幹線飯田駅の設置が予定され、浜松市までの高規格道路が完成すれば太平洋に開く窓となる。また豊橋市も加えた「三遠南信広域連合」も検討され、県境連携の先進モデルとして約10万事業所で製品出荷額13兆円の巨大経済圏が期待される。地域の伝統を守りつつ、未来産業に挑戦。明確な理念、達成目標を掲げ、費用対効果まで見通した将来像である。「実直・勤勉、努力と忍耐、控えめで謙虚」と言われる山国・信州人気質から飛躍し、選ばれる地域を目指す姿はまさに「エス・バード」です。

この先進的挑戦は、「進取の気性」を掲げる羽村市もぜひ、参考としたい。

▼視察報告書



# 文教厚生委員会

## 行政視察報告

8月14日に東京都三鷹市、11月13日に東京都立川市を視察しました。

### 〈東京都三鷹市〉

### コミュニティ・スクールについて

### 三鷹市の取り組み

羽村市教育委員会は、コミュニティ・スクールを来年度に全小・



▲左から石居委員、金子委員、浜中副委員長、三鷹市職員の方、大塚委員長、門間委員、菅委員

中学校で導入していくために準備を進めている。しかし、児童・生徒の保護者や地域の方から「コミュニティ・スクール」という言葉はまだ馴染みがなく、わかりにくいとの声がある。そこで、早くからコミュニティ・スクールを基盤とした、小・中一貫教育を実施している三鷹市を視察した。

三鷹市は、公立学校区が7つに区分されており、小学校15校、中学校7校を設置している。また、全ての小・中学校において、小・中一貫教育を展開、学校区ごとを学園と称し、学園単位での取り組みを行っている。各学園では、学校・家庭・地域がそれぞれ責任と権限をもち、当事者として「ともに」手を携え、地域の子供たちの教育にあたるシステムとして、コミュニティ

ティ・スクール委員会を設置。学校運営への参画と教育活動への参画の2つの面から機能しているという。

三鷹市教育委員会では、コミュニティ・スクールのスタートにあたり、取り組みを各学校で展開していくために、学校自らが、保護者や地域の方にコミュニティ・スクールのことを伝え、相互理解を進めていくことが必要と考えた。そのため、準備委員会などを設け、学校を支えている地域の方や保護者に対して、コミュニティ・スクールの基盤とした小・中一貫教育の取り組みの主旨を熱意を持って何度も何度も語っていったという。また一方で、校長をはじめとした学校関係者に対しても、繰り返し何のためにコミュニティ・スクールの推進するのかを説明している。

準備委員会を実施し、各種の団体との交流・意見交換を実施していく中で、我が学校をチーム学校として支えていこうとするネットワークが出来上がっていったように思う。

### 羽村市のこれから

羽村市としても、このような市民に理解を得るための取り組みを、丁寧に積み重ねていってほしい。また、説明していく際に、難しい言葉で伝えるのではなく、わかりやすい言葉で、共感の輪を広げていってほしい。文教厚生委員会としても、今後の教育委員会や学校の取り組みを注視していく。



▲担当職員の方に説明を受けました

### マンガでわかる みたかの教育



▲みたかの教育を伝えるために作成されたリーフレット

〈東京都立川市〉

重層的支援体制整備事業

「孤立のないまち」  
「住民が困りごとの解決  
に参加できるまち」  
を目指して

地域福祉課を新設し本格実施

令和2年6月の社会福祉法の改正により、重層的支援体制整備事業が創設された。この事業は、分野別の支援体制では対応しきれない「複雑で多様化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制をつくるため実施するものである。

立川市では、令和2年度から重層的支援体制整備事業への取組みの検討・試行を重ね、令和4年度から本格実施している。8050問題、社会的孤立、ダブルケアなどの複合化・多様化した支援ニーズに対応するため、これまでの相談体制や支援体制を生かして、生活に身近な場所においてまるごと相談を受け止める体制を作り、市民、関係団体・事業者等と協働し、孤立のない地域づくりを目指している。



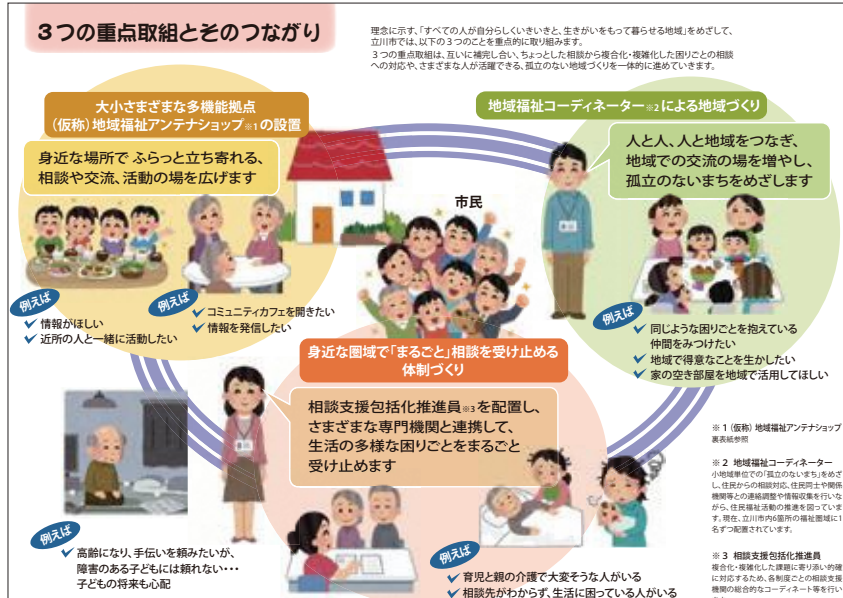
▲立川市の担当の方から説明を受けました

本格実施にあたり、地域福祉課を新設し、相談支援包括化推進員、地域コーディネーターを配置し、社会福祉協議会と連携しながら推進している。子供、介護・高齢、障がい、生活困窮のネットワーク会議に重層的支援体制整備事業担当職員が参加することにより、各分野と連携する顔の見える関係づくりを進め、行政内部でも連携会議を行っているそうである。

重層的支援体制整備事業では、サービス提供や給付等の支援策は行っておらず、相談事業による相談者の課題整理への支援や意思決定支援、課題や状況に応じた多機関共同事業による共同事業サービスへのつなぎや役割分担を担っている。

地域福祉アンテナショップの設置

身近な場所で、ふらっと立ち寄れる相談や交流、活動の場として、地域福祉アンテナショップ（居場所）を設置している。ちよっとした相談から複雑化した困りごとの活動できる地域の多機能拠点として



▲孤立のない地域づくりを一体的に進めるための立川市の取組み（ダイジェスト版立川市第4次地域福祉計画より）

羽村市のこれから

て、市内6つの福祉圏域に各1か所の設置を目指している。地域での空き部屋等を活用し、カフェや相談、情報交換など、様々なテーマで近隣住民の交流をつなぐ活動の場として設置し、誰でも、どの地域でも、参加できる居場所づくりを進めている。

羽村市では現在、個別支援体制は各部署の連携が図られ、複雑な支援事例にも対応している。今後一層、市民ニーズの複雑化・多様化が予想されている。これに対応するために、人材確保や地域の支援参加は不可欠である。詳しい説明を受けて、大きな学びになった。

▼視察報告書



# しぎかいカレンダー

## ●第1回定例会(3月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
					2/16 陳情メ	17
18	19	20 議運	21	22	23	24
25	26	27 本会議	28 本会議	29 本会議	3/1 本会議	2
3	4 予特 (補正)	5 本会議	6	7 常任委	8 常任委	9
10	11	12 予特	13 予特	14 予特	15	16
17	18	19	20 議運	21	22	23
24	25 本会議	26	27	28	29	30

- 陳情メ…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
  - 議運…議会運営委員会
  - 常任委…常任委員会（総務、環境まちづくり、文教厚生）
  - 予特（補正）  
…一般会計等予算審査特別委員会（令和5年度補正予算）
  - 予特…一般会計等予算審査特別委員会（令和6年度予算）
- ※会議の予定は変更になる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問合せください。

## 議会を見よう！知ろう！

### ～次の定例会は3月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**  
感染症対策により、傍聴者の健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、咳エチケットや手指消毒などのご協力をお願いします。  
傍聴の受付は、4階議会事務局で行っています。
- 2 ケーブルテレビで生中継**  
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**  
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**  
会議終了後2か月程度で会議録ができます。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



## 編集後記

12月定例会では、羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する検討報告に関する一般質問が5人の議員から行われたほか、使用料等の値上げを行う条例改正議案が多く提出されました。住民票の写しの証明書をはじめ、事務手数料や公共施設使用料が対象となり、生涯学習センターゆとろぎについては、新たに市民等以外の使用料金が設定されました。水道料金、下水道使用料については、現在の物価高を鑑み、実施時期を遅らせる提案がされました。反対・賛成の討論がありました。これらの議案が可決されました。これら議案などについても、お近くの議員を通じてご意見をお寄せください。

長い間広報委員を務めていただいた大塚あかね議員が、昨年12月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

(浜中)

### 【広報委員会委員】

富永 訓正(委員長)  
濱中 俊男(副委員長)  
池澤 敦 野崎 和也  
金子 ひとみ 高田 和登  
浜中 順

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889  
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。